

## 一般会計予算は約 264 億円

平成 27 年度当初予算が 3 月議会で可決され、決定しました。  
一般会計予算の総額は 264 億 3,000 万円で、前年度当初予算と比べて 1 億 7,000 万円の増となりました。

財政局課 ☎(25) 8111

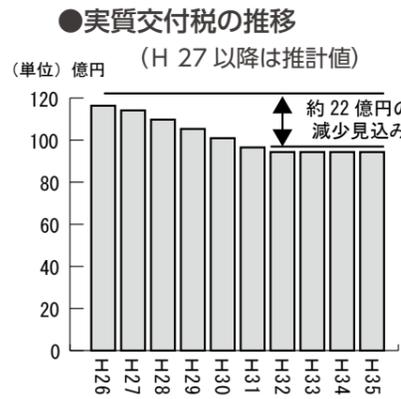


**Point**  
コンピュータシステムの改修等に基金を充当

本年度は、昨年度に引き続き、まちづくりの推進やコミュニティバス運行の経費に地域活性化基金 3 億円を取り崩すほか、合併以来の更新整備となる基幹業務システムと戸籍総合システムの改修事業に財政調整基金約 1.6 億円を取り崩す予定です。

**Point**  
予算増加の要因

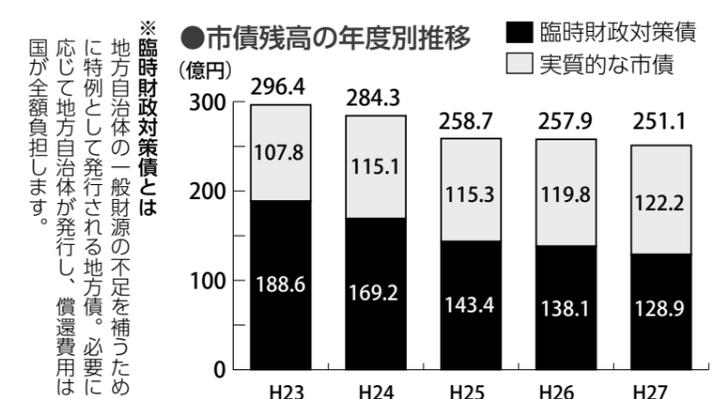
一般会計当初予算の増加の要因は、学校施設等の吊天井耐震改修工事や基幹業務システムなどの大型の建設事業や、子ども子育て支援新制度にかかる保育園・幼稚園運営事業の拡充のほか、環境センターの安定稼働に必要な経費の増加等によるものです。



●実質交付税の推移 (H 27 以降は推計値)  
約 22 億円の減少見込み

**Point**  
地方交付税は前年並みの見込み

地方交付税(普通交付税)は、前年度当初予算と比べて、1 億円増の 97 億円と見込んでいます。合併後 10 年間の合併算定替期間が終了し、普通交付税は、平成 27 年度から段階的な減額が始まりますが、本年度の財源不足の状況と平成 26 年度までの実質的な交付税の算定額を考慮し予算計上しています。



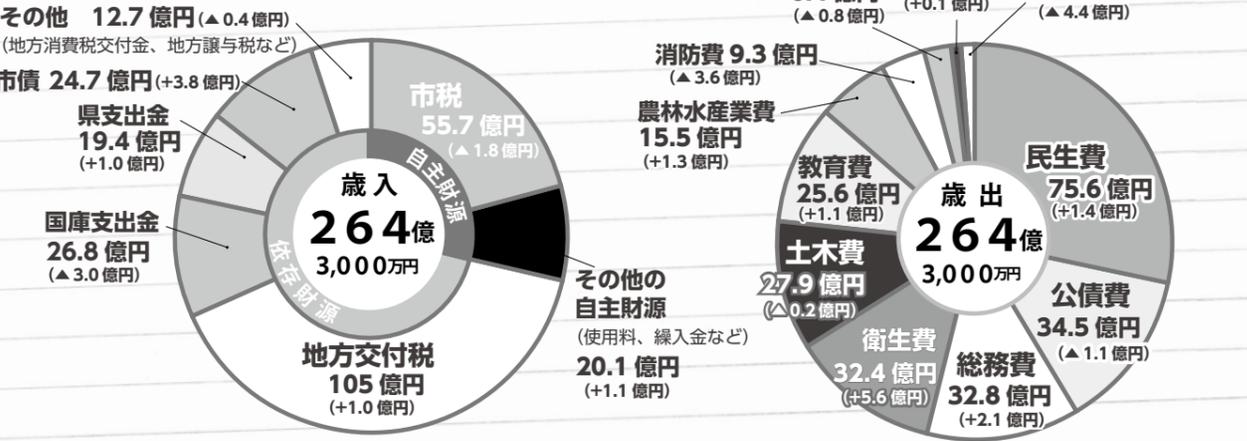
●市債残高の年度別推移  
市債残高(市の借金残高)は、年々減少しており、平成 27 年度末には 251 億 1 千万円となる見込みです。市では、これまで積極的に繰上償還(前倒しして返済を行うこと)を行うとともに、償還額(返済額)以上に新規の借金をしないようにするなど市債残高の減少に努めてきました。

**Point**  
市債残高は 7 年連続で減少

No. 福祉や教育、産業振興など、市の基本的な会計  
Date **一般会計 264 億 3,000 万円** (対前年度当初予算比 + 1 億 7,000 万円)  
**事業会計 79 億 3,757 万円** (対前年度当初予算比 + 3 億 9,182 万円)  
**特別会計 159 億 1,230 万円** (対前年度当初予算比 + 13 億 1,340 万円)

### 一般会計予算の概要

※ ( ) 内の金額は、平成 26 年度当初予算比  
※おこわり…金額は 1 千万円未満を四捨五入しているため、合計金額が一致しない場合があります。



- 市税…市が徴収するお金
- 地方交付税…全国どの市町村でも一定の行政サービスを提供できるように国が地方公共団体に交付するお金
- 国庫支出金…国からの補助金等
- 県支出金…県からの補助金等
- 市債…市の借金
- 自主財源…市税、利用料、負担金など市が徴収できるお金 (75.8 億円)
- 依存財源…補助金や交付金など国や県などに依存するお金 (188.5 億円)
- 民生費…福祉や医療のための経費
- 公債費…借金返済に要する経費
- 総務費…市政運営のための経費
- 衛生費…健康や環境のための経費
- 土木費…道路、河川、市営住宅などの経費
- 教育費…学校や生涯学習のための経費
- 農林水産業費…農林水産業振興のための経費
- 消防費…安全・安心なくらしのための経費
- 商工費…商工や観光振興のための経費
- 議会費…議会の運営のための経費

**一般会計** 市民一人あたりの予算 **514,713 円** (平成 26 年度当初予算 505,944 円) 平成 27 年 3 月末現在の人口 (51,349 人) で計算

- 高齢者や児童の福祉などに 147,311 円
- 借金返済に 67,222 円
- 行政運営費に 63,927 円
- ごみ処理や病気の予防に 63,155 円
- 道路・河川などの整備に 54,354 円
- 学校・図書館・公民館などに 49,773 円
- 農林水産業振興などに 30,162 円
- 消防・救急活動などに 18,066 円
- 商工・観光振興などに 12,508 円
- 議会の運営に 3,912 円
- その他 4,323 円



### 特別会計・事業会計の内訳

区分	当初予算	前年度比較
	国民健康保険特別会計 (事業勘定)	70 億 8,210 万円
国民健康保険特別会計 (直診勘定)	8,140 万円	+230 万円
後期高齢者医療事業特別会計	5 億 6,120 万円	+1,440 万円
農林業集落排水事業特別会計	6 億 3,200 万円	+4,050 万円
下水道事業特別会計	25 億 1,440 万円	+8,140 万円
熱供給事業特別会計	830 万円	▲60 万円
介護保険事業特別会計	49 億 5,000 万円	+1 億 4,970 万円
訪問介護ステーション事業特別会計	8,290 万円	+360 万円

区分	当初予算	前年度比較
	水道事業会計	17 億 4,899 万円
病院事業会計	56 億 4,533 万円	+9,226 万円
介護老人保健施設事業会計	5 億 4,325 万円	▲1,330 万円

# 5つの高島未来政策

主な事業をご紹介します。



## 3 防災・環境

計画的な橋の  
長寿命化、耐震化 **8,000万円**

従来の事後的な修繕および架け替えから、予防的な修繕と保存的な補修へと政策転換を図り、計画的な橋の長寿命化・耐震化を行います。  
(橋梁長寿命化事業)

小中学校の体育館などの  
吊天井を耐震改修 **3億6,733万円**

近年の大きな地震により吊天井が落下するという事案を受け、国から耐震化の新しい基準が示されました。

このことにより、各小中学校の体育館およびなのはな園の吊天井の改修工事を行います。  
(吊天井耐震改修事業)



## 4 教育・文化・スポーツ、子育て支援・女性

小学校の空調設備を整備  
・中学校のトイレを改造 **656万円**

小中学校の学習環境を整備するため、年次計画的に進めている小学校空調設備整備事業・中学校トイレ改造事業の実施設計を行います。  
対象：マキノ東小、マキノ西小、マキノ南小、マキノ中学校、朽木中学校  
(小学校空調設備整備・中学校トイレ改造事業)

文化的景観を守り  
育てる方策を検討 **1,440万円**



今年1月に「大溝の水辺景観」が重要文化的景観に選定され、「海津・西浜・知内の水辺景観」「針江・霜降の水辺景観」と合わせて3地域となりました。これらの景観を守り育てるため、構成要素の保存修理や活用方針等の検討を行います。  
(文化的景観保護推進事業)

保育時間の延長など、子育て支援を拡充 **12億5,208万円**



子ども・子育て支援新制度の実施に伴い、保育時間の延長や給食費の無償化など、公立および私立の保育園・幼稚園運営事業の拡充を図ります。  
(保育園・幼稚園運営事業)

## 5 一体感のあるまちづくり

ふるさと納税制度を  
リニューアル **5,209万円**



ふるさと納税制度を「びわ湖高島えんむすび事業」として事業展開し、財源確保と特産品のPRに努めます。  
(びわ湖高島えんむすび事業)

地域おこし協力隊を  
設置 **799万円**

人口減少の克服、地域における若者の受け入れ基盤づくりのため、地域おこし協力隊を設置します。  
(地域おこし協力隊設置事業)



まちづくり委員会を新たに全市的な組織に **60万円**

現在旧町村ごとに設置されている「まちづくり委員会」を新たに全市的な組織「高島市まちづくり推進会議」として再編し、市民参画・市民協働により一体感のあるまちづくりを推進します。  
(まちづくり推進事業)

## 1 医療・福祉・介護

生活困窮者の自立に  
向けた相談支援体制  
を整える **1,673万円**

生活困窮者が生活保護に至る前に、困窮状態から早期に脱却することを支援するため、地域における自立相談支援体制を整えます。  
(生活困窮者自立支援事業)

地域密着型サービス  
事業所の施設整備等  
を補助 **7,292万円**

介護が必要な高齢者が住み慣れた地域でできる限り生活が続けられるよう、地域密着型サービス事業所の整備に対して助成します。(2か所) また、円滑な施設の開設に向け、開設準備経費も助成します。  
(地域介護・福祉空間整備事業)

## 2 産業・観光振興

観光施設を  
リニューアル！ **2億4,470万円**

各施設利用者のニーズに応えるため、施設のリニューアル整備を行い、観光施設としての魅力を高めます。  
・グリーンパーク想い出の森大規模改修  
・琵琶湖周航の歌資料館改修  
・新旭風車村リニューアル基本計画策定  
(観光施設魅力アップ事業)



(グリーンパーク想い出の森の温泉)

J R各駅周辺の  
活性化対策を検討 **1,042万円**

昨年に引き続きJ R安曇川駅周辺の活性化を進めます。また、市内各駅周辺についても同様の市街地活性化対策を検討します。  
(安曇川駅周辺活性化推進事業)

森林公園くつきの森の  
浄水設備等を改良 **4,660万円**

森林公園くつきの森の浄水設備および浄化槽設備の改良を行います。  
(森林施設維持管理事業)